

# 堺

## 法道寺

法道寺(ほうどうじ)は寺伝によれば7世紀の中ごろに空鉢(法道)仙人が開いたとされる高野山真言宗の寺院です。古くは長福寺といい多数の寺坊がありました。食堂(じきどう)は鎌倉時代後期に建てられ、僧侶が法会のさいに食事などを行った建物です。鎌倉時代の食堂は大阪府内では河内長野市の金剛寺とこの建物のわずかに2棟があるだけで大変貴重な建物です。多宝塔(たほうとう)は南北朝時代中期に



安定感のある、法道寺宝塔

所在地：堺市南区鉢ヶ峯寺 401  
最寄駅：泉北高速鉄道泉ヶ丘駅下車  
南海バス鉢ヶ峯行 鉢ヶ峯下車すぐ  
拝観自由  
TEL：072-297-0705

建てられた安定感のある建物です。建築年代は屋根に葺かれている丸瓦に、正平23年(1368)に作ったという銘文があり、この時期に建てられたと考えられます。それ以外にも、金堂・大師堂・中門は、江戸時代に建てられた建物です。屋根を大きく作り、細部に彫物を多用するなど、江戸時代の寺院建築の特徴が、よく表れています。いずれの建物も周辺の緑豊かな環境によく調和し、落ちついた景観を今に伝えています。堺市指定の保存樹木として、高さが20メートルの、すぎの木があります。(七堂元敏)